

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料22年度事業 事後評価
作成日 H 24 年 2 月 15 日作成

事務事業名	まちづくり交付金事業事務経費	□ 実施計画事業	所属部局	建設部	単位番号	7056				
			所属課室	都市計画課	課長名	新津 元博				
基本政策	Ⅲ うるおいと利便性のある都市づくり	□ 実施計画事業	所属担当	計画担当	担当者名	三村 武				
				会計	名称	款 項 目 細目 細々目				
政策	15 市街地・住環境の整備	事業区分	予算科目	01 一般	0 8 0 4 0 1 0 5 0 0 2					
						□ 国の制度による義務的事業 □ 施設等維持管理事業				
施策	24 計画的な土地利用の推進					□ 県の制度による義務的事業 □ 補助金交付事業				
						□ 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業				
事業期間	□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) □ 期間限定複数年度 (18 ~ 24 年度)	法令根拠	事業費の主な内訳 (22年度)	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
						普通旅費 69:事務備品購入費 90				
事業の内容	事業実施地区(白根)の事業内容と事業費を取りまとめ、補助金交付申請、変更申請、補助金請求を行う。また実施地区的都市再生整備計画の変更等が必要となった場合は、変更協議、変更計画書の提出を行う。事業実施最終年度には、事後評価を行い、その後もフォローアップを行っていく。					消耗品費 2,809:その他負担金 30				
						調査研究委託料 1,134				
事業の概要						その他委託料 315				
						リース料 81:計	4,528			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	補助金申請、変更申請、補助金請求、都市再生整備計画(櫛形地区)の変更及び事後評価
23年度活動予定	補助金申請、変更申請、補助金請求、都市再生整備計画(白根地区)の変更及び事後評価
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
安全で快適に通行でき、安全で快適に人々が交流できる空間が整備される。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
計画的な土地利用が推進されることにより、安全で快適に人々が交流できる空間が整備され、生活環境が保全される。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
ア 事業実施地区	単位 地区
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
ア 人口	単位 人
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
ア 名称	単位
イ 事業実施箇所数	箇所
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
ア 名称	単位
イ 南アルプス市が住みやすい地域と回答した割合	%
ウ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金	千円	643					
		県支出金	千円						
		地方債	千円	1,200					
		その他	千円						
		一般財源	千円	65	4,528	2,946			
		事業費計 (A)	千円	1,908	4,528	2,946	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2	2		
	延べ業務時間	時間		800	1,800	1,200	500		
	人件費計 (B)	千円		3,569	8,030	4,754	1,981	0	0
	(A)+(B)	千円		5,477	12,558	7,700	1,981	0	0
活動指標		ア 地区		2.0	2.0	1.0			
対象指標		ア 人		72,869.0	73,014.0	72,854.0			
成果指標		ア 箇所		12.0	10.0	4.0			
上位成果指標		ア %		57.7	70.7				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	市街地・住環境の整備を目標とし、平成18年度より櫛形地区、平成19年度より白根地区のまちづくり交付金事業を各5年間で整備することとした。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	非常に厳しい財政状況から、計画を変更しながら必要な事業を実施してきている。昨年度櫛形地区が完了し、今年度白根地区が完了するため、事後評価を実施して事業を検証する。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	必要な事業を精査し、計画に沿って事業実施することが求められている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「 取り組みしている ⇒【内容】 」 <input checked="" type="checkbox"/> 「 取り組みしていない ⇒【理由】 」
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	厳しい財政状況の中、必要な事業を精査して、当初計画を変更等する中で事業実施してきている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	計画事業を精査し、変更計画の申請を行った。

事務事業名	まちづくり交付金事業事務経費	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 この事業により道路、公園、地域交流センター等が整備されており、市街地・住環境の整備に結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市民のために行っている市街地・住環境の整備であるため、市が行う事が妥当である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 この事業により市街地・住環境の整備を行うことで、安全で快適に通行でき、安全で快適に人々が交流する場が作られるため、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 都市再生整備計画に基づき、精査する中で変更をしながら実施されてきている事業を計画的に進めるための事務事業であるため、これ以上の向上の余地はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 都市再生整備計画に基づき、各地区5年間で事業実施してきているものであり、5年間を通して補助率が決まる事業であるため、影響は非常に大きい。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 都市再生整備計画に基づき、全体事業にて補助率が決まる事業であり、提案事業が完了している現在、基幹事業を中止すると補助金変換が生じるため、休止・廃止は出来ない。
	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 都市再生整備計画に基づき、精査する中で変更しながら実施してきている事業を計画的に進めるための事務事業であるため、事業費の削減の余地はない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 都市再生整備計画に基づき、精査する中で変更しながら実施してきている事業を計画的に進めるための事務事業であるため、人件費の削減の余地はない。
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 この事業により道路、公園、地域交流センター等が整備されることにより、安全で快適に通行ができ、安全で快適に人々が交流できる場が出来るため、公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業を実施する為の事務経費であり事業が終了するまでは必要である。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性													
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)													
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)													
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)													
(2) 改革改善案について	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成 果 水 準</td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>	成 果 水 準	コスト水準			削減	維持	増加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
成 果 水 準	コスト水準													
	削減		維持	増加										
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>												
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果													
①	成果優先度評価結果	⑫												
②	コスト削減優先度評価結果	⑥												
③														